

## 魅力発信・商業地賑わいワーキング 活動報告

- ビジョン策定時の「歴史文化・多文化共生WG」「商店街等活性化WG」メンバーが中心となってこのワーキングが構成されている。アクションプログラムはニュータウンだけで実現できるものではないことから、向島地域全体から多様なメンバーが参加している。
- 第1回WG会議までに、「歴史まちあるきの社会実験」や、すばる高校においてマップづくりが進められた。
- 第1回会議ではワーキングの検討課題とアクションプログラムを確認し、それらに基づく組織立ち上げと助成金申請を目指すことになった。
- 第2回会議では、活動実績を踏まえて、「向島ツーリズム推進検討協議会」「向島秋の祭典実行委員会」について助成金申請を目指すことになった。
- 今後の予定として、これらの活動組織を基にして本格的な活動の立ち上げを目指す。

<b>主なメンバー</b> (敬称略)	地域住民	橋爪 (3 街区), 橋本 (10 街区自治会顧問), 宇野 (向島東公園愛護協力会ほか), 福井 (二の丸北各種団体連絡協議会他), 上代 (向島学区自治連), 奥田 (向島南学区) 他
	事業者	中嶋農園, 山本牛乳店, 千姫を偲ぶ会, 中小企業家同友会 他
	その他	すばる高校, 公社, 伏見区 他
<b>今年度まず取り組むアクションプログラム・取組</b>	1-3	ニュータウンと周辺地域が一体となった, 向島の歴史まちあるき等のイベントの実施
	1-4	向島アグリツーリズム・グリーンツーリズムの実施
	3-2	地域情報の住民への発信
	13-1	向島ニュータウンの商店街の活性化
	13-3	向島駅前の活性化
<b>主な活動の報告</b>	第1回 WG 会議	○これまでの活動の振り返り ○ワーキングの検討課題と進め方 ○組織立ち上げについて
	第2回	○組織立ち上げと経費助成の活用について

### 第1回ワーキング 平成29年5月20日(土) 参加者: 18名

**(1) これまでの取組報告**

項目	概要
<b>向島城まちあるき</b>	・WGメンバー主催で歴史まちあるきの社会実験を行った。23名の参加。(4/2(日))
<b>向島フィールドワーク</b>	・中小企業家同友会主催で向島のまちあるきを行った。30名の参加。高校生や大学生の参加もあった。(5/13(土))
<b>千姫でイメージ発信</b>	・千姫を偲ぶ会において、時代行列実現をめざす勉強会を開催。(5/7(土))
<b>若者をつくる・若者を取り込む地域マップづくり</b>	・すばる高校商業・情報学科3年生の地域連携授業で、これまでに中嶋農園さんとコラボして取り組んできた(農業体験など)。 ・今年度、若者をターゲットにしたマップづくりを計画中。
<b>農とまちづくり・地産地消とインバウンド活用</b>	・地産地消をめざして地元の農業者としてまちづくりに参加している。種智院大学とコラボして、農から特産品開発, マルシェへと取り組んでいる。
<b>商店会チャレンジショップ</b>	・ビジョンにおける取組として「空き店舗及び広場の活用」「若い世代の空き店舗出店」を目指す。検討経過を地域に報告し、地域意向を反映させていく。

- (2) ワーキングの検討課題と進め方**
- ワーキングの検討課題とアクションプログラムを確認した。

### (3) 組織立上げについて

- 「向島ツーリズム推進検討協議会」「向島秋の祭典実行委員会」について、組織立ち上げと助成金申請を目指すことになった。

第2回ワーキング 平成29年7月2日(日) 参加者：22名

### (1) これまでの取組報告

項目	概要
地域活性化のための「マップ」「ツアー」の提案	<ul style="list-style-type: none"><li>・京都すばる高校の取組</li><li>①まちあるきマップ(9月上旬完成予定)<ul style="list-style-type: none"><li>・テーマ AR(拡張現実)で巡る巨椋池・向島城・太閤堤</li><li>・ターゲット 20~30代</li><li>・スマホを地図にかざすと解説やお店のクーポンが表示される「AR機能」を盛り込むマップを作成する。</li></ul></li><li>②1日ツアー(9/3(日)予定)<ul style="list-style-type: none"><li>・朝：マップを使ったまちあるき、</li><li>昼：種智院大学のマルシェ・昼食、</li><li>夕：ヘリコプターで遊覧飛行</li></ul></li></ul>
㈱健康プラスの訪問看護ステーション・まちの保健室開設	<ul style="list-style-type: none"><li>・むかいじま病院 ㈱健康プラスが、商店会の空店舗(中国物産店)に訪問看護ステーションとまちの保健室(フリースペース)を開設する。フリースペースでは、医療・福祉の相談窓口や研修会を行う。</li><li>・7/22介護予防、ストレッチ講習を行う。まちの保健室は8月上旬オープン予定</li></ul>



### (2) 組織立上げと経費助成の活用について

#### ①向島ツーリズム推進検討協議会

##### ■申請書作成、提出に向けて

- ・「活動スタートアップ支援枠」を目指す。

#### ②向島秋の祭典実行委員会

##### ■取組の方向性

- ・今年度は「活動アップグレード支援枠(上限60万円)」を活用し、段階的に交付金にたよらない事業に変更していく。実行委員会を再編し、参加の輪を拡げて向島ニュータウン全体及び向島地域全体のまちづくりイベントにしていく。

##### ■申請書作成、提出に向けて

- ・「活動アップグレード支援枠」を目指す。

#### ③向島駅周辺活性化組織

##### ■取組の方向性

- ・向島駅周辺活性化の検討については、「組織立上げを急がず、向島ツーリズム推進検討協議会と一緒にってはどうか」といった意見があった。向島ツーリズム推進検討協議会では、住民ニーズを把握するために駅前とセンター商店会に関するアンケート調査を計画しているので、合流できるかどうか検討する。

#### ④ラジオ番組で情報発信

##### ■取組の方向性

- ・むかいじま病院，京都文教大学学生放送局，PTA，住民有志で，タウン誌の発行と子どもたちが向島情報を発信するラジオ番組づくりなどを進める。将来的な目標として，地域の防災情報ネットワークの構築を目指す。健幸ステーションのフリースペースに，ラジオ活動の拠点をおかせていただけるか相談する。

#### 今後の予定

##### 第3回魅力発信・商業地賑わいワーキング

日時 平成29年9月9日（土）午前10時 場所 向島学生センターセミナーハウス  
事項 活動立ち上げ（「向島ツーリズム推進検討協議会」，「向島秋の祭典実行委員会」）と今後の取組について

## 住環境ワーキング 活動報告

- 定期的に「住環境パトロール」を実施することにより、向島ニュータウンにおけるハード面の課題把握と共有を図っている。そこで得られた課題を活かし、空き家を含めた住戸改修について、議論を深めてきた。
- 公共交通機関の利便性向上のため、近鉄バス本社と協議し、よりよいあり方を共に模索している。
- 現在、向島中央公園リフレッシュ事業が進められており、行政との協議や説明会の実施に取り組んでいる。

主なメンバー (敬称略)	地域住民	高木 (二ノ丸学区民児協), 増田 (二ノ丸学区子ども見守り隊) 日高 (二の丸北学区社協), 福井 (二ノ丸北各種団体連絡協議会), 宇野 (向島藤ノ木学区社会福祉協議会), 山内 (向島藤ノ木学区 民生・児童委員協議会), 山崎 (向島中央公園愛護協力会), 神 門 (向島駅前まちづくり協議会), 高木 (笑顔つながろう会), 中田 (伏見区身体障がい者団体連合会), 田嶋 (8,9 街区自治会 長), 内林, 福間, 森田 (1 街区), 橋詰 (3 街区), 志賀 (5 街 区), 松本 (6 街区), 他
	事業者	江籠 (京都市住宅供給公社)
	その他	小林 (京都文教大) 他
今年度まず取り 組むアクション プログラム	15	市営住宅集会所・空き家の改修と活用
	34	中央公園の再整備と、東公園とも合わせたバリアフリー化等の 検討
	65	住環境パトロール活動の実施
	108	既存路線バスの利用促進の取組
主な活動の報告	第 1 回 WG 会議	○今後の取組について意見交換
	第 2 回	○住環境パトロールのまとめと今後の進め方について意見交換 ○バス路線の改善について

### 第 1 回ワーキング 日時：平成 29 年 5 月 30 日 (火) 参加者：20 名

#### (1) 課題共有

項目	概要
住環境パト ロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月15日(土)に1街区を点検した結果、次の事項が確認された。               <ol style="list-style-type: none"> <li>①集会室の出入り口やマンホールのくぼみ、エレベーターホール前の段差など、高齢者がつまずきやすい箇所が多数見受けられた。</li> <li>②子ども用公園の出入り口の溝に蓋がなく、遊具の劣化が激しい。</li> <li>③駐輪場の仕切り板によって、自転車等へのいたずらが見えづらく、取り外すことを検討できないか、等。</li> </ol> </li> <li>・5月20日(土)に5街区を点検した結果、次の事項が確認された。               <ol style="list-style-type: none"> <li>①エレベーターホール前や横道の段差が激しく、高齢者にとって危険ではないか。</li> <li>②デイサービス車輛は、現在は中道から出入りしている。今後駐車場からの乗り入れできないか、検討課題。</li> <li>③自動車や自転車等の廃車、等</li> </ol> </li> </ul>



<b>中央公園</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公園等のバリアフリー対応が問題となっている。電動車いすを使用される方も多いが、電動車いす使用車が出入りできない公園が多い。</li> </ul>
<b>住戸改修・空き家の活用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政が風呂桶改修を行うのは難しいと思われる。しかし風呂桶改修は住民にとっては死活問題であるので、例えば改修の希望を街区や棟毎にとり、行政より助成をうけて住民負担で取組むことは現実性がある。</li> </ul>
<b>中央広場</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央広場の段差の改修を、公社がアスファルトを用いて行った。元々広場はタイル張りであり、広場は住民にとっても憩いの場であることから、元のように綺麗に改修して欲しい。</li> </ul>
<b>バス路線の改善</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利便性向上のため、以下の3点について、本ワーキングを中心に近鉄バスと話し合いを行いたい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①向島駅～竹田間のバスの増便</li> <li>②始発時間を1時間早める</li> <li>③伏見区役所を經由する路線変更</li> </ul> </li> </ul>



**(2) 今後の取組について**

- ・住環境パトロールの継続実施
- ・バス事業者との協議
- ・中央公園や東公園のバリアフリー対応の検討
- ・空き家を含めた住戸改修の検討

**第2回ワーキング 平成29年6月3日(日) 参加者：28名**

**(1) 活動状況共有**

項目	概要
<b>住環境パトロール</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月17日(土)に6,8街区を点検した結果、次の事項が確認された <ul style="list-style-type: none"> <li>①バス停や中央公園の出入り口に段差が見受けられる。</li> <li>②24号線西側歩道は、樹木が茂り歩道にはみ出ているため、視認性が悪く、歩行者と自転車がぶつかる汽船性がある</li> <li>③中央公園広場のゴミ箱にゴミがたまっており、不衛生である。また24号線東側歩道の東側に柵がたっているが、そこにゴミが捨てられている。</li> <li>④8街区各棟1階エレベーターホール前はスロープでバリアフリー化されている。</li> </ul> </li> </ul>
<b>住戸改修・空き家の活用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と公社が取組むべきことと、居住者が取組むべきことの整理が必要。</li> <li>・行政が改修を行うことが難しいのであれば、住民が自己負担で改修しやすいような仕組みを作っていくことが求められている。例えば、退出時は現状復帰が前提とされているものの、住民が住環境改善のため改修した場合、考慮するなど、今の時代にあった方法を検討することが、居住者にとって望ましいのではないかと。</li> <li>・介護保険制度で、風呂場の扉等の改修ができる。現在利用できる制度の情報共有が必要。</li> <li>・空き家対策のひとつとして、単身者の入居についても検討してはどうか。地域住民からもニーズが高い。</li> <li>・市営住宅の制限をはずし、デイサービスなど民間の事業者の力を借りて、目的外使用について検討する。</li> </ul>
<b>バス路線の改善</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月4日(火)に向島地域のバス路線の改善について、近鉄バス本社にて協議の場をもつこととなった。</li> <li>・地域住民のバスの利用状況やニーズ調査について、今後も実施していく必要がある。</li> </ul>

### 「向島中央公園リフレッシュ事業対応グループ」について

- ・4月25日（火）に京都市建設局南部みどり管理事務所から「向島中央公園の2017～18年度リフレッシュ事業計画」の実施手順などについて説明を聞き、管理事務所の現地調査に同行した。
- ・京都市建設局南部みどり管理事務所より、以下の通りの説明を受けた。  
今年度の整備予算（372,000千円）は主に樹木の間伐とモミジ・サクラなどの植栽に充て、来年度予算（予算額未定）は、主に散歩道などの整備に充てる予定である。具体的な計画策定はこれからで、実施は早くても秋以降の予定である。整備計画の策定にあたっては、説明会を開催するなど、住民の意見を聞きながら進めたい。
- ・住環境ワーキングから、以下の事項について要望した。
  - ①公園の車止めのうち、電動車いすが通行できない箇所の改修。
  - ②40年間ほとんど計画的な間伐が行われずにきた樹木を「見通し良く」かつ「風通しの良い」、「広く親しまれる」公園にする「今回の向島中央公園のリフレッシュ事業の方針」と齟齬のない範囲で、「提案書」にも書いたように「大木になった高木は残す」ようにしてほしい。
  - ③公園内に芝生スペースを設けてほしい
  - ④小中校生通学路となっている公園中央の通路での自転車事故防止の対策を考えてほしい。
- ・6月2日（金）に「向島中央公園のリフレッシュ事業」について京都市建設局南部みどり管理事務所と打合せを実施（於向島図書館）。
- ・6月16日（金）に「向島中央公園のリフレッシュ事業」の説明会を開催（向島二ノ丸小学校）。

### 今後の予定

#### 第3回住環境ワーキング

日時 平成29年8月1日（火）午後7時 場所 京都文教マイタウン向島（MJ）  
事項 各取組の情報共有、住戸改修・空き家の活用取組の整理、近鉄バス運行経路・ダイヤの見直し、中央公園リフレッシュ事業の進捗状況

## 暮らし・安心ワーキング 活動報告

4月と6月に2回ワーキングを実施し、活動状況の共有と課題抽出を図り、以下の事項を実施ならびに検討することとなった。

- (1) 集会所・空き住戸を活用した取組の促進ならびに組織の設立
- (2) 障害当事者を中心とした地域参画・居場所づくりのための組織の設立
- (3) 地域住民による他地域の視察（勉強会）の実施
- (4) まちづくりビジョン推進のため、地元事業所との連携の強化

主なメンバー (敬称略)	地域住民	高木, 佐々木 (二ノ丸学区民児協), 増田 (二ノ丸学区子ども見守り隊), 日高 (二の丸北学区社協), 山内 (向島藤ノ木学区民生・児童委員協議会), 小山 (向島公団住宅自治会), 福井 (二ノ丸北各種団体連絡協議会), 小島 (1街区), 黒多, 矢吹, 櫻田 (5街区), 木村 (11街区), 藤井 (3街区), 遠山 (夕陽紅の会) 他
	事業者	平田, 佐藤 (愛隣館), 岩城, 福井 (むかいじま病院), 谷口 (あじさいガーデン伏見), 西川 (地域包括支援センター), 高 (こうふく介護サービス) 高田 (メディケア・リハビリ訪問看護ステーション), 他
	その他	吉村, 馬場, 杉本 (京都文教大), 中嶋 (伏見区役所), 美留町 (向島駅前まちづくり協議会) 他
今年度まず取り組むアクションプログラム	53	街区集会所等による高齢者サポート拠点 (介助ステーション, 食事スペース, バリアフリー整備などのリニューアルなど) づくり
	55	障害者の地域活動, まちづくり活動への参画とその支援
	59	中国帰国者等の生活課題, ニーズや自助グループの活動におけるニーズを把握し, 支援策等を検討
	60	中国帰国者等間のネットワークづくり及び中国帰国者と地域住民のサポーターとのネットワークづくり
主な活動の報告	第1回 WG 会議	○今後の取組について意見交換 ○参加呼びかけたい人・団体の整理
	第2回	○暮らし安全 WG 関連事項の経過報告 ○今後の WG の方向性について ○視察計画について

### 第1回ワーキング 日時：平成29年4月8日（土） 参加者：11名

(1) 今後の取組について意見交換

- ・集会所・空き住戸を活用した取組のひとつとして、スマートウェルネス住宅等推進モデル事業の提案ならびに、実現性の向けての検討と課題共有が行われた。現在、街区を超えて勉強会を実施している。
- ・他地域の先進事例を参考とするため、今年度中に視察を実施することの検討について提案が行われた。

(2) 参加呼びかけたい人・団体の整理

- ・中国帰国者の状況の共有や事業者と連携を深めていく。
- ・障害者や高齢者、中国帰国者を取り巻く状況は本ワーキングだけでは対応できるものではなく、今後は住環境 WG や防災・防犯 WG とともに情報共有ならびに連携を図る必要がある。
- ・障害者/高齢者/中国帰国者と分けてワーキングを開催することも検討する。

第2回ワーキング 平成29年6月10日(土) 参加者:27名

(1) 活動状況共有

項目	概要・今後の取組
集会所・空き住戸を活用した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会に参加の輪が広がっているが(1,5,6,3街区から参加),集会所の改修について京都市では予算化ができていない。</li> <li>・京都市担当者は事業実現は容易ではないと考えている。ビジョンに位置づけられているが,市内全体の集会所整備につながり,コストがかかることもあり,議論を重ねることが必要。</li> <li>・スマートウェルネス住宅等推進モデル事業は,庁内でも横断的に検討する必要がある,庁内の調整がいる。</li> </ul> <<今後の取組>> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市との協議や地域の勉強会を続ける。</li> <li>・住民側で集会所を活用した事業を行い,実績を重ねる。野菜市,出張りハビリをやりたいとの声がある。</li> <li>・住宅課と介護・医療・子育て等の部局の連携で検討する。</li> </ul>
中国帰国者の会の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・包括支援センターが媒介しあじさいガーデンを借りて中国帰国者の会が開催された。</li> </ul> <<今後の取組>> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動拠点が求められており,月2回開催の要望がある。</li> <li>・他の施設利用を含めて,検討する</li> </ul>
向島NT活動等経費助成対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3種類の活動等助成について説明があった。①活動スタートアップ支援,②活動アップグレード支援,③活動融合支援</li> </ul> <<今後の取組>> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〆切は7/31(月)</li> <li>・助成申請について検討する。</li> </ul>
健幸プラスの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店会の空き店舗を借りて訪問看護ステーション等の出張所を開設予定である(8月オープン予定)。</li> <li>・健康相談等ができる「まちの保健室」を併設予定である。</li> </ul> <<今後の取組>> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの保健室部分の活用方法は今後検討していく。</li> <li>・24号線東側の新しい公園について,バリアフリーチェックを予定している。</li> </ul>

(2) 暮らし安心ワーキングの取組

(1) 集会所・空き住戸を活用した取組

- ・勉強会や集会所活用の取組について,今後も報告してもらおう。ハード面の検討は住環境のワーキングに意見を集約する。
- ・関係団体の参加が必要で有り,検討組織づくりについて提案があった。

⇒スタートアップ支援事業に申請

「市営住宅集会所の活用」

市営住宅の集会所の活用について,関係街区とも連携・検討する協議会を設置する。

(2) 障害者参画の地域活動

- ・黒多さんを代表として,障害者が地域に参画する活動や組織づくりについて検討する。
- 活動融合支援の活動等助成利用を検討する。

⇒スタートアップ支援事業に申請

「各団体や様々な人が集まる場所づくり」



障害者や中国帰国者、震災避難者などが気軽に集まれる場所づくりを目指す。

### (3)施設見学について

- ・候補は①UR団地における小規模多機能拠点（藤沢市）、②地域包括ケア複合施設（男山団地）。視察に加え、講師を招聘し、勉強会の実施も検討する。
- ・年内実施で検討を進める。

⇒八幡市地域包括ケア複合施設 YMBT への視察実施

日時 2017年9月1日 午後 2時間程度

場所 八幡市地域包括ケア複合施設 YMBT

〒614-8374 京都府八幡市男山石城 1-4

※定員先着 20名

### 今後の予定

#### 第3回暮らし・安心ワーキング

日時 平成29年9月2日（土）午前10時 場所 向島二の丸小学校ランチルーム

事項 活動報告、今後の取組について、視察報告について

## 子ども若者支援ワーキング 活動報告

- これまでのワーキングでは既に取り組みられている子ども若者に関わる取組の状況共有を進めて、「アフター5スクールづくりにむけた拠点や担い手づくり」、「藤ノ木学区での食の支援や学習支援」について率先して進めている。
- 新たに京都市ユースサービス協会、伏見区社会福祉協議会、伏見区更生保護女性会も事業推進の主体として参画し、既存の取組の連携・調整は「子ども若者拠点づくり実行委員会」で行いながら、新たな取組の立ち上げも進め、ワーキングで情報共有している。
- 藤ノ木学区での城南児童館・保育園の協力・連携による、子ども食堂の実施・中学生勉強会の実施準備を進めており、助成金の活用など実施準備が整ってきたところである。
- 拠点・担い手づくりにつなげようと、子育て世代の相談窓口の立ち上げ検討を進めている（話し合う集いでの子育て世代向けアンケートの実施や小中学校への相談等）

主なメンバー (敬称略)	地域住民	高木（二ノ丸学区民児協）、増田（二ノ丸学区子ども見守り隊） 日高（二の丸北学区社協）、長谷川（3街区G棟）、本田、河野（伏見地区更生保護女性会）、上田（向島中学校PTAOB）、 松本、松田、山内（向島藤ノ木学区民児協）、西谷（向島南学区、向島中学校PTAOG）、土橋（MJ学習会運営）他
	事業者	須釜（城南保育園）、大濱（むかいじま健幸プラス）田中（中部はすの実ひろば）、大下、村井（伏見青少年活動センター）、桐澤、田中、山本（伏見区社協）他
	その他	三林、杉本（京都文教大）、美留町（向島駅前まちづくり協議会）、沖野（市住宅公社）、山本（区役所子どもはぐくみ室）長澤（龍谷大）他
今年度まず取り組むアクションプログラム・取組	43	既存施設・新規施設において住民主体により、子どもが楽しみ学べる拠点「アフター5スクール」づくりの推進
	50	夜の安心安全な居場所、食の支援、学習支援
主な活動の報告	第1回 WG 会議	○向島で行われている子ども若者に関わる活動共有 ○課題の共有 ○今年度の取組 WG 体制について
	子ども若者拠点づくり実行委員会（月1回開催） ・WGとは別途、民間助成金を得て組織をし、会議を実施している	
	第2回	○取組 WG の役割・位置づけの協議・確認 ○向島で行われている子ども若者に関わる活動共有 ○新たな取組検討状況共有（藤ノ木学区での学習会等）

### 第1回ワーキング 平成29年4月8日（土） 参加者：18名

#### （1）活動共有

項目	概要
向島中学生学習会	・マイタウン向島で、高木さん、土橋さんらを中心に、経済的に困難な家庭の中学生を対象に学習支援を行っている。
キッズキッチン	・マイタウン向島で、小学生勉強会に参加している子どもたちを対象に行っている。小林先生と民生委員さんを中心に、大学生やランチクラブのお年寄りにもお手伝いいただいている。
集いの広場（中部はすの実ひろば）	・乳幼児（妊娠から小学生まで）をもつ母親の支援。現在、集いの広場の拡充作業中。母親間の異世代交流や家庭訪問などを4月から再開予定。 候補地：向島南の自治会館、月に2回行う予定。

学生と一緒に母親サポート	・京都文教大学の学生を中心に、乳幼児がいる専業主婦へのサポート実施（学生が母親の傾聴相手に、学生は母親から子育てを学び、母親は日々の生活のストレスを軽減できれば）。
小学生向けの学習支援	・京都文教大学のサークル（文スト）が毎週金曜日、小学生を対象に学習支援を行っている。サポートする学生の数を確保するのが難しい。
1 街区集会所での学習支援	・退職された教員の方が行っている。

**(2) 活動から見える課題の共有**

○子どもが集まれる場所がない ○藤ノ木学区に学習支援がない ○子どもや若者をサポートする事業を実施できる場所がない ○子ども若者をサポートする事業の人材が不足

**(3) 今年度からの WG 体制**

○伏見区青少年活動センター，京都府更生保護女性連盟伏見地区更生保護女性会の参加

**第 2 回ワーキング 平成 29 年 6 月 3 日（日） 参加者：28 名**

**(1) 活動状況共有**

項目	概要
子ども若者拠点づくり実行委員会	・実行委員会は京都地域創造基金の助成金と伏見区助成金の活用し、向島の各子ども若者に関わる取組を共有しながら、ボランティア募集や活動微調整などをしていこうと始まったもの。 ・学習の必要性に加えて居場所が必要になってきている。食事づくり、ものづくりの場も提供したい。 ・住民の皆さんが主体となっていけるようにするために、いずれワーキングとの関係性の整理が必要。
キッズキッチン	・月 1 回 MJ で継続し実施している。
小学生学習会	・毎週金曜 5 時—7 時 MJ で実施。10—20 人参加。5 月から最終金曜日にカレーを提供。その日は多くの子どもが参加する。
中学生学習会	・MJ で実施して 3 年目。20 数名が登録し、多いときは 15 名程度参加。参加者が増えてきているので、教える側の体制やリスク対策が課題。今後は病気で学校・塾に行けない子ども、夜しか出られない子どもなど、勉強する場所がここにしかない子どもにしっかり対応できる体制が必要。
高校生向けの取組	・19 時から 21 時に定期的にニュータウン内をまわり声かけしながら、伏見青少年活動センターの案内。高校生の親世代にも展開し、親も孤立しない環境をつくっていく必要がある。
ラジオ番組づくり	・京都文教大学シェルパで子ども若者が参加する番組を企画
その他	・公社セミナーハウスは地域でも利用できるように仕組みを整えた。 ・むかいじま病院と健幸プラスではニュータウン商店会に看護師、理学療法士がいる訪問看護ステーションを新たにつくることを計画。子育て世帯にも何かあれば、情報をつなぎ紹介できる拠点に。

<b>(2) 新たな取組の検討状況共有</b>	
<b>項目</b>	<b>概要</b>
<b>城南児童館での学習会・城南保育園での子ども食堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府・市の子ども食堂向け助成金を活用。城南児童館でまずできるところから進めていく。</li> <li>・保育園では学習会は難しいが調理室を衛生面でのルールに基づいて利用することは可能（子どもが調理することはできない）</li> <li>・まず府・市の助成金等を申請する主体をはっきりさせる。</li> </ul>
<b>アフター5スクール</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上田さん含め実行委員会でどう進めていくか検討を始めた段階。</li> </ul>
<b>(3) 取組ワーキングの役割・位置づけの協議・確認</b>	
<p>①取組ワーキングの役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組ワーキング：向島全体での既存の取組・新たな活動の検討状況を共有する場とする。</li> <li>・子ども若者拠点づくり実行委員会：<u>既存活動主体の集まりとして具体的な活動連携や取組の進め方の検討・調整の場</u>とする。</li> </ul> <p>②新たな取組の検討・立ち上げの場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学区単位での活動や新たな取組は<u>個別に検討や調整の場を持ち、各々で検討を進めていく。</u> 例：アフター5スクール 上田さん及び実行委員会で相談。</li> </ul>	
<b>第2回ワーキング以後の取組進捗</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育て世帯向けの相談窓口の立ち上げに向けて、話し合う集いでのアンケート等を踏まえて、子育て世帯向けの相談窓口の立ち上げ準備（助成金申請等）を進めている。</li> <li>○ 藤ノ木学区でのキッズキッチン・中学生勉強会については子ども食堂支援の助成金を獲得できたことから、藤ノ木学区の民生児童委員、城南児童館・保育園・ユースサービス協会等と協力して実施に向けて動き出す。</li> </ul>	
<b>今後の予定</b>	
<b>第3回子ども若者支援ワーキング</b>	
日時	平成29年8月5日（土）午前10時
場所	向島学生センターセミナーハウス
事項	各取組の情報共有、課題の確認・連携の必要性の検討

## 防災防犯ワーキング 活動報告

- 防災の取組のうち「空き家の避難所活用」と「災害時要配慮者の情報把握や避難支援体制づくり」について率先して検討を進めている。
- 防災と防犯をテーマとしているが、それぞれ地域の役職や取組を進めるメンバーが異なることや人数も多くなることから、夏以降は防災と防犯にグループを分けて取組を検討し、定期的に情報を共有することとしている。
- 「空き家の避難所活用」：市営住宅空き住戸のうち、水害を想定し、緊急避難場所としてその場所がないと避難先がない住民の数やニーズを把握するところから調査、まずモデル的に整備していくことを目指し、市や住宅供給公社と協議していく準備を進めている。
- 「災害時要配慮者の情報把握」は上記の空き住戸避難所活用のために必要な住民の把握と合わせて、既に取り組まれている「あったか訪問」との連携、モデル街区・住棟等を決め「わたしの避難計画」づくりを機会としたコミュニケーションを図る取組準備を進めている。

主なメンバー (敬称略)	地域住民	珍田（向島藤ノ木学区自主防）、児玉（二ノ丸北学区自主防）、増田（二ノ丸学区自主防）、高木（向島二ノ丸小学校子ども見守り隊他）、上代（向島学区自主防災）、野崎（向島南学区自主防）、雪丸（防推委員向島藤ノ木支部）、長井（平安レディース隊向島藤ノ木支部）奥田（向島南学区）他
	事業者	佐藤（あいりん）、西川（地域包括支援センター）、桐澤（伏見区社協）他
	その他	杉本（京都文教大）、東山、吉川（伏見区役所まちづくり推進担当、総務防災担当）、伏見消防署向島出張所 他
今年度まず取り組むアクションプログラム・取組	70	配慮必要な住民の情報共有とニーズ調査
	75	災害時要配慮者の避難誘導、支援の関係、体制づくり（関連：74 避難行動シートづくり）
	76	防災訓練の見直し、充実（訓練への多様な人の参加）
	78・79	空き家の避難所活用とマニュアル・ルールづくり
	90	危険箇所等のマップづくり
主な活動の報告	第1回 WG 会議	○ビジョン内容共有 ○今年度のWGの体制・進め方検討 ○今年度まず取り組んでいくことの確認、取組の進め方検討 ○その他防災・防犯の課題共有
	第2回 WG 会議	○運営体制と連絡体制の決定 ○空き家の避難所活用に向けたルール検討（検討課題洗い出し） ○要配慮者の情報把握のための現状課題の整理
	第3回 WG 会議	○防犯に関する取組に進め方の確認 ○市営住宅空き住戸の避難所活用に向けた整備条件の検討 ○要配慮者把握のための既存の訪問活動状況の共有
	防犯関係者打合せ	○防災と防犯の取組のワーキンググループ体制意見交換 ○防犯ワーキングの役割・位置づけ、参加メンバーの確認
	随時	○空き住戸活用にむけたニーズ把握のための情報収集・調整等

### 第1回ワーキング 平成29年4月16日（日） 参加者：15名

#### （1）今年度の体制・進め方検討

- ・防災・防犯に関連する地域の役や事業者等、参加していただくべき方々について検討。
- ・防災と防犯それぞれにリーダーをおく。今後体制検討のために、上記参加すべき方について各学区からどのように参加するか学区ごとに検討することにした。

## (2) 今年度まず取り組んでいくことの確認、進め方検討

○空き家の避難所活用について現状課題、今後の検討課題を共有

- ・以前に避難所用に貸与されたことがあった、汚損がひどく、使える状況ではなかった。
- ・1次避難所として想定するが、その際最低限必要な環境整備が必要。管理や運営ルールを整えることが必要。他の目的で空き家活用のアイデアも他WGから出ており調整が必要。

○要配慮者の情報共有・避難誘導・支援の関係体制づくりの現状課題、今後の検討課題を共有。

- ・障害のある方など情報をリアルタイムに把握できない。包括支援センター・民生委員等も情報を持っているが共有できるものではない。情報をまち全体として把握・共有できない。

## (3) その他防災・防犯の課題共有

○団地エレベーターホール・廊下・階段への自転車・バイクの駐輪問題

○避難指示等発令時の課題：連絡先不明、避難指示への誤解。適切な情報提供と理解促進。

## 第2回ワーキング 平成29年5月13日(日) 参加者：16名

### (1) 運営体制と連絡体制の決定

- ・前回は踏まえてワーキング参加者の確認。連絡体制は防災のリーダーとして珍田さんから各学区及び防犯の窓口として雪丸さんを通して、メンバーへの電話連絡体制をつくった。
- ・書記係：佐藤さん(あいりん)によるPCでの記録作成。

### (2) 空き家の避難所活用にむけたルールの検討(検討課題洗い出し)

課題	具体的な内容・情報・意見
空き家の把握：各学区3階以上の使用可能なもの	・学区3階以上の使用可能なものを把握する必要がある。
住民で管理・活用する方法(災害時・日常利用)	
改装費用	・まずはモデル的に改装整備か。 ・どの程度の改装を必要とするか
災害時利用に必要な整備内容	・電気、ガス、水道の利用の必要性 ・備蓄物品(街区所有の)保管ができることよい
災害の種類で分けて考える必要あり	・水害時：3階以上の空き家 ・地震時：集会所や小学校？
京都市・公社への提案・相談方法	➢ 必要な理由 ➢ 整備する部屋数、改装の程度(まずはモデル的に) ➢ 賃料をどうするのか ➢ 水光熱費はどうするのか ➢ どの住戸にするのか ・最低限求める整備内容をまとめる必要がある。 ・避難所としての目的外利用を認めてもらう提案が必要。
推進会議全体としての要望提案をするべき	・空き家活用や中央公園整備は他のWGでも居場所活用などテーマになっている。防災防犯WGだけで要望をしては向島全体の動きにならないのではないか。 ・共通課題(空き家や中央公園利用など)については運営会議でもWG長の出席のもと、調整をしながら進める。

### (3) 要配慮者の情報把握のための現状課題の整理

○課題や現状についての情報共有

- ・全戸に対して配慮が必要な方の情報を集めるのは大変。水害を想定して、まずは1-3階のみを対象として情報把握をしてはどうか。
- ・消防署や地域包括等での「あったか訪問」と連携できないか、実態を情報収集し検討する。

<b>第3回ワーキング 平成29年6月17日（土） 参加者：16名</b>
<p><b>(1) 防犯に関する取組の進め方の確認</b></p> <p>○内容やメンバーは具体的には異なるので、分けて検討、取組を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議は別々に行い、3ヶ月に1回程度は合同で行う（共通の議題をにおいて）。</li> <li>・議事録はお互いに共有する。</li> </ul> <p><b>(2) 市営住宅空き住戸の避難所活用に向けた整備条件の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活用についてはハードルが高いものから、まず活用できそうなものまで段階がある。まず活用しやすいものについて、市や住宅供給公社と協議を行う場を持つ。</li> <li>・空き住戸を活用し用意しなければならない避難所は誰のためのものなのかははっきりさせる必要がある。</li> </ul> <p><b>【必要な空き住戸を明らかにするため】</b></p> <p>①包括・消防の情報は数だけでも得られないか？ →包括・消防と相談                      →まず空き住戸の活用協議できる材料を！</p> <p>②各戸に避難シート等を使って訪問・把握する →避難シートを有効にするにはコミュニケーションを図る必要がある。</p> <p><b>(3) 要配慮者把握のための既存の訪問活動状況の共有</b></p> <p>○あったか訪問の現状について共有</p> <p>○「わたしの避難計画」を活用したコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二ノ丸学区では、今年度「わたしの避難計画」を全戸配布予定。</li> <li>・「わたしの避難計画」を作っていながら避難手段等を考えていく。</li> <li>・最終的には街区・棟で全部数字を出していきたい。</li> </ul>
<b>防犯関係者打合せ 平成29年6月23日（金） 参加者：10名</b>
<p>防犯推進委員支部長3名ほか1名、京都市都市総務課、伏見区役所、伏見署、京都文教大から参加し、打合せ実施。</p> <p><b>(1) 防災と防犯の取組のワーキンググループ体制意見交換</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災と防犯を分けて検討、取組を進めていく。数回に1度合同でワーキング会議を実施。議事録等の情報共有は随時行なうことを確認した。</li> </ul> <p><b>(2) 防犯ワーキングの役割・位置づけ、参加メンバーの確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯に関係する地域の役職は多様で人数が多い。また、区役所、学校、警察と情報を把握していたり、活動の連携があまりなかったりする。</li> <li>・まずは地域の防犯に関わる各役職が集まり、情報共有するところからはじめる。そのため名簿づくりを行なう。</li> <li>・取組としては防犯マップの更新を中心に進める。（後日、住民による新たな情報を追加更新）</li> </ul>
<b>第4回ワーキング（防災） 平成29年7月22日（土）</b>
<p>以下の議題を検討した。（本資料の作成はワーキング開催前のため、予定議題を記している）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災防犯の取組体制の再確認</li> <li>・市営住宅空き住戸避難所活用の必要性の根拠となる情報の確認共有、協議の場の検討 等</li> </ul>
<b>今後の予定</b>
<p><b>防災防犯取組ワーキング会議（防災第5回）</b> *本資料の作成が第4回開催前のため次回未定 日時 平成29年8月以降 実施</p> <p><b>防災防犯取組ワーキング会議（防犯第1回）</b> 日時 平成29年7月末を予定していたが、現在8月以降で調整中</p>